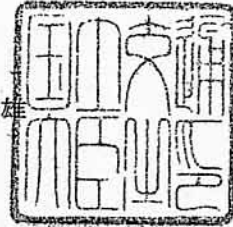


認定書

国住指第2537号
平成 18年 2月 16日

三菱マテリアル建材株式会社
代表取締役社長 山村 洋司 様

国土交通大臣 北側 一雄



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法施行規則第8条の3の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

TBFC-0023

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

厚さ9.5mmのけい酸カルシウム板張り／太め鉄丸くぎCN50／くぎピッチ:外周@75mm、中通@150mm／枠組壁工法耐力壁

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

4.0の倍率を有する耐力壁と同等以上の耐力を有する耐力壁
別添の通り

(注意)この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名

厚さ 9.5mm のけい酸カルシウム板張り／太め鉄丸くぎ CN50／くぎピッチ：外周@75mm、
中通@150mm／枠組壁工法耐力壁

2. 構造の概要

2.1 面材等の概要

(1) 面材

a) 材料の名称

名 称：けい酸カルシウム板

規 格：JIS A 5430 (繊維強化セメント板)

種類の略号：1.0FK (JIS A 5430)

b)

c) 寸法及び許容差

	幅 (mm)	長さ (mm)	厚さ (mm)
寸 法	910, 1000	1820, 2420, 2730, 3030	9.5
許容差	+0, -2	+0, -2	±0.5

d) 品質の基準

性能

見掛け密度：1.0±0.1g/cm³ (JIS A 5430 (繊維強化セメント板) の試験方法による。)

曲げ強さ：13.0N/mm²以上 (JIS A 5430 (繊維強化セメント板) の試験方法による。)

吸水による長さ変化率：0.15%以下 (JIS A 5430 (繊維強化セメント板) の試験方法による。)

出荷時含水率：15%以下

質量：10.7±0.8kg/m²

吸水率：60±5% (JIS A 5430 (繊維強化セメント板) の試験方法による。)

外観

割れ及び貫通き裂：ないこと。

欠け、ねじれ、反り、異物の混入及び汚れ：使用上支障がないこと。

(2) 接合具

JIS A 5508 (くぎ) に規定された CN50 (太め鉄丸くぎ)

2.2 耐力壁の適用範囲

- (1) 当該面材を使用した耐力壁の適用範囲は、平成13年国土交通省告示第1540号及び第1541号に準拠した枠組壁工法を用いた建築物とする。
- (2) 平成13年国土交通省告示第1541号第1第五号の表1-2に掲げる壁若しくは筋かいを併用する場合は、5を限度として両者の倍率を加算できるものとする。

2.3 耐力壁の施工仕様の概要

(1) 枠組材

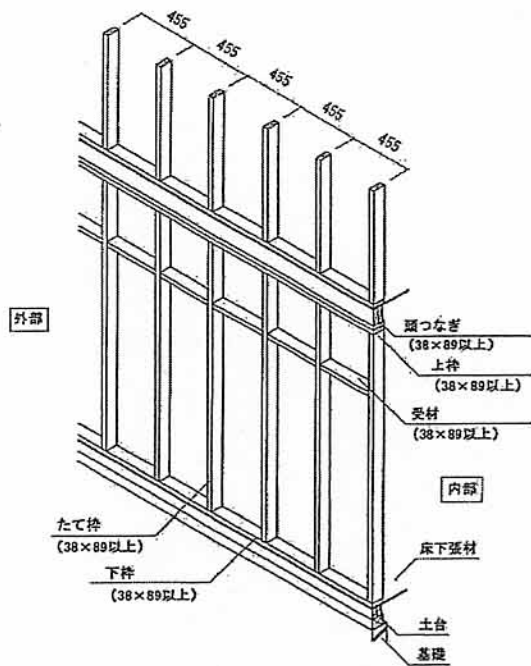
- ①耐力壁の下枠、たて枠及び上枠の寸法は、寸法形式204以上とする。
- ②たて枠相互の間隔は500mm以下とする。

(2) 面材の取り付け方

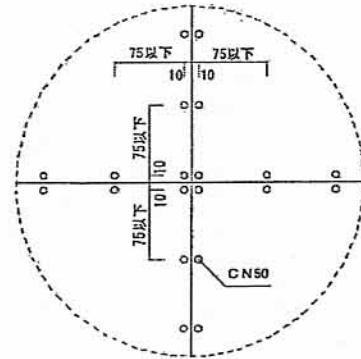
- ①面材の張り方は縦張りとする。ただし、受材を介して面材を縦方向に継ぐ場合の上側の面材は横張りとすることができる。
- ②面材は、太め鉄丸くぎCN50 (JIS A 5508) を用いて、面材の外周部ではくぎ相互の間隔を75mm以下で、また、面材の中通ではくぎ相互の間隔を150mm以下で枠材に留め付ける。
- ③面材の端部とくぎとの間隔(縁端距離)は、たて枠及び面材を継ぐ受材では見つけ幅の1/4程度若しくは10mm程度、上枠及び下枠では見つけ幅の1/2程度とする。

(3) 施工図

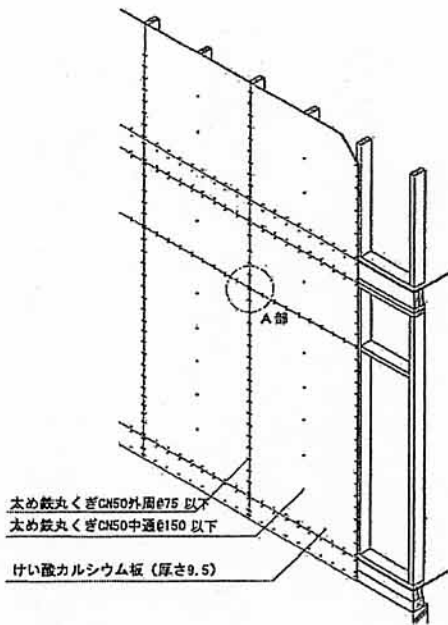
施工図を図-1.1~図-1.3に示す。



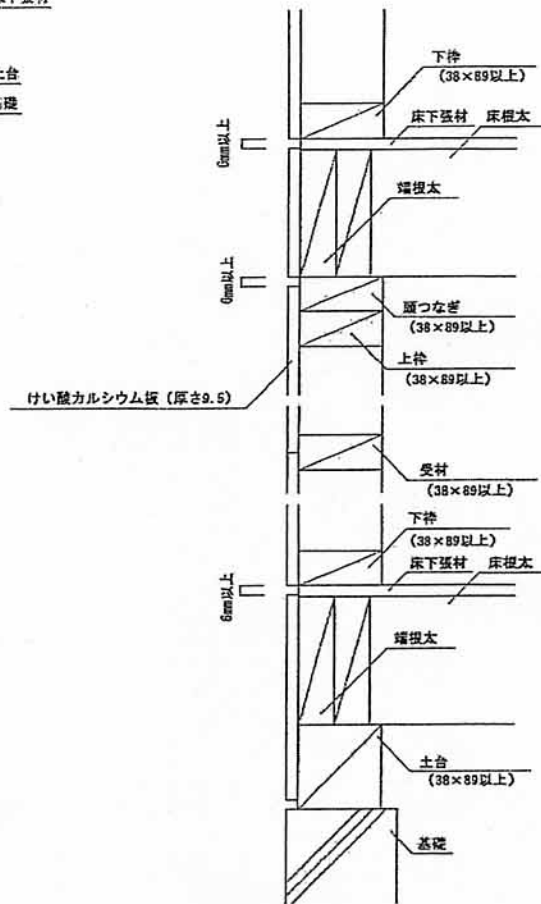
下地組図



A部詳細図



施工図



鉛直断面図

図-1.1 施工図：継手を設ける場合 (寸法単位：mm)

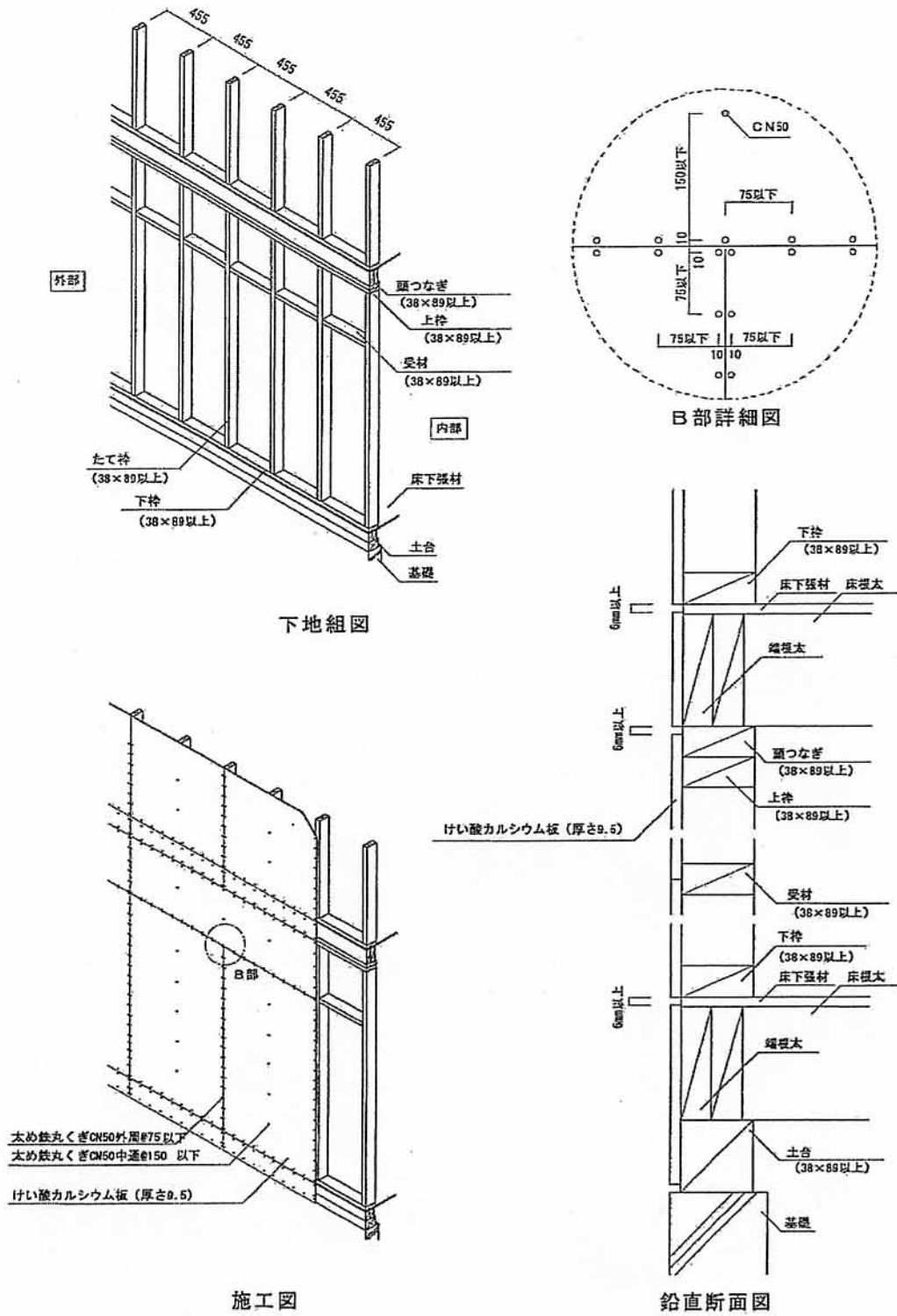


図-1.2 施工図：継手を設ける場合（上部横張り）（寸法単位：mm）

(別添-4)

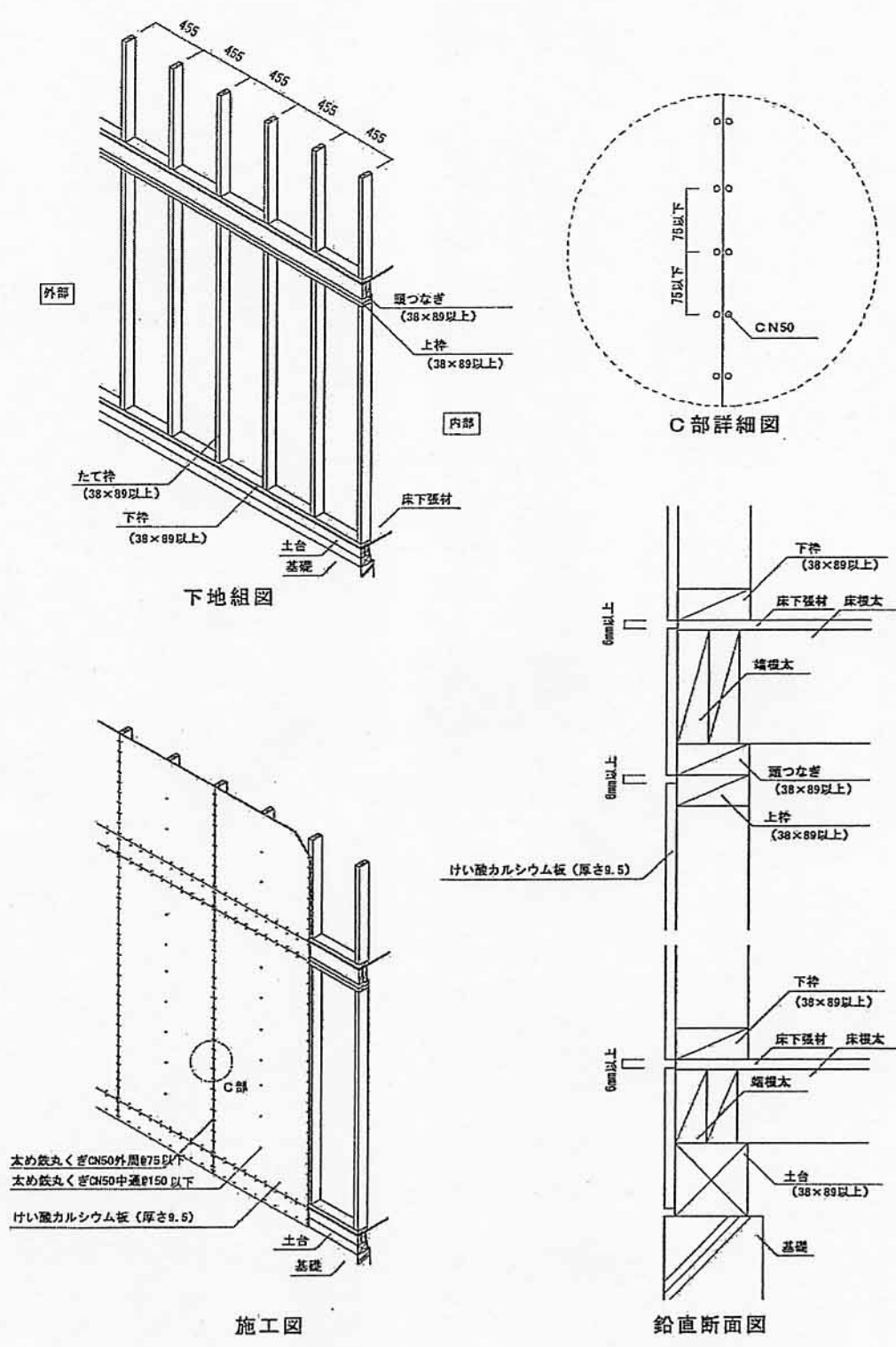


図-1.3 施工図：継手を設けない場合 (寸法単位：mm)